

ジオパーク X 国立公園

第二弾

一年ぶり、二度目の企画。国立公園のレンジャーにインタビュー！
今回は国立公園でいま力を入れている事業について聞きました。

地域の魅力を伝えたい！「あしうわ物語」づくり

土佐清水自然保護官事務所 自然保護官 小林皆登



小林保護官

こんにちは、土佐清水自然保護官事務所の小林です。土佐清水に来てから早2年が経ちました。これからも引き続きよろしくお願いします。

さて、今日は、最近力を入れている「あしうわ物語（ストーリー）」について紹介します。

先日、中村から西土佐に向けて車で走っていると、道沿いにとても綺麗な桜が咲き誇っていて思わず車を停めて見とれていました。すると、近くを通りかかったおじいさんが、「その桜35年前にわしが植えたんじゃ」と嬉しそうに教えてくれました。きっと、こうやって道行く人を喜ばせたくて植えてくれたんだなと思うと、一層、満開の桜が美しく見え、忘れられない体験となりました。

日本の国立公園の特徴は、公園の中に人が暮らしていることです。圧巻の自然が残されていることはもちろん、風景、食、伝統工芸品、寺社仏閣や祭等、人の暮らしの営みを感じることができます。そして、それこそが日本の国立公園の魅力であり、世界に誇れる強みです。上記の「花咲かじいさんの体験」のような、その自然の背景にある物語を知ること、感動が増し、ただの「体験」が「感動体験」に変わります。

環境省は、地域の住民・事業者・自治体の皆様と一緒に、国立公園を訪れた方に、「多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語」を知ってもらうことで、「忘れられない唯一無二の感動体験」を提供していきたいと考えています。

ここ、足摺宇和海国立公園で感じることでできる「あしうわ物語（ストーリー）」を今まさに整理しているところで、今後、土佐清水の皆様にもご協力頂きながら、一緒に、世界に誇れる物語を紡ぎ、発信していきたいと思っています。

「あしうわ物語」づくりには土佐清水ジオパークも協力しようがよ！
背景にある大地や暮らしとの繋がりが分かると、地域の自然もきっと
もっと楽しくなるでね。「あしうわ物語」、楽しみ～！



ジオパーク少年

あしうわ情報

新たなレンジャー、アクティブレンジャーが着任

土佐清水自然保護官事務所に新たなレンジャー、アクティブレンジャーが着任し、4月からレンジャー2人、アクティブレンジャー1人の3人体制となりました。

2025年4月24日に「滑床ビジターセンター万年荘」が開館

「竜串ビジターセンターうみのわ」に次ぐ、足摺宇和海国立公園のビジターセンターが松野町の滑床溪谷に完成しました。

アクティブ
レンジャー レンジャー レンジャー
小林さん 萩野さん 鵜田さん



発行

一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎 4032-2

TEL 87-9590 MAIL geopark@tosashimizu-geo.jp

web

